

第31回 A Class Dinghy Japan Championship

2022若洲大会

レース公示

1. 主 催 日本A級ディンギー協会
2. 主管(大会運営) 櫻門ヨット倶楽部(日本大学ヨット部OB会)
レース運営 (一社)東京都セーリング連盟
3. 協 力 NPO法人 マリンプレイス東京
4. 開 催 地 若洲ヨット訓練所 東京都江東区若洲3-1-1

5. 大会期日 2022年7月1日(金)~3日(日)
6. 適用規則
 - (1) 本レガッタには「セーリング競技規則(2021-2024)」に定義された規則を適用する。
 - (2) 規則 44.1(ペナルティーの履行)の「2回転ペナルティー」を「1回転ペナルティー」に変更する。
 - (3) 「日本A級ディンギー協会クラスルール」を適用する。
 - (4) 特に規則遵守を図るため「A級ディンギーレースにおける規則遵守について」の徹底を図る。

7. 帆走指示書 6月20日以降に日本A級ディンギー協会のホームページにて公示する

8. 競技種目
 - (1) チーム対抗レース
木造艇とFRP艇の2種目とし、それぞれの合計点で順位を競う。但し、スタートは同時におこなう。
 - (2) 混合レース
 - ① シングルハンド種目(一人乗り)
 - ② レディース種目(女性スキッパー)
 - ③ スーパーシニア種目(7月3日時点で75歳以上のスキッパー)上記種目は 同時スタートでレースを行いますが、それぞれの種目で順位を競う。
混合レースの得点は、チーム対抗レースの得点に加算しない。
※混合レースのエントリーは7月1日の受付時に行う。(予め申し込み時のアンケートに回答)
※混合レースの海面はハーバー内ポンドを予定。

9. 参加資格
 - (1) 日本A級ディンギー協会に加盟するクラブの艇及びチームであること。
 - (2) チームの一人以上が(公財)日本セーリング連盟の会員であること。
 - (3) 参加競技者名簿に記載しエントリーしていること。
 - (4) 参加資格のあるチームは、2022年5月20日までに、エントリー書類に記載の上、大会実行委員会へメールにて送付するとともに、参加料及びその他費用の振込を行うことによって参加申込完了となる。

10. 参加料
 - (1) 艇参加料(1艇) 15,000 円
 - (2) 新艇登録料(一艇) 10,000 円
 - (3) 選手参加料(1名) 5,000 円

- (4) 応援者参加料(1名) 3,000 円
(5) 協会年会費 10,000 円

11. スケジュール

- 7月1日(金) 受付 11:00~14:00
計測(指定された艇) 12:00~14:30
理事会(代表者会議) 15:00~16:00
監督会議 16:00~17:00
(理事会・監督会議は事務所一階艇庫)
- 7月2日(土) 開会式 8:15~8:30
最初のレースの予告信号 9:25
- 7月3日(日) 最初のレース予告信号 9:00 (混合レース予定)
表彰式及び閉会式 15:00

※大会レース数は最大6レースとし一日のレース数は定めない。
◇2日は15:00以降、3日は12:00以降の予告信号は発しない。
◇各レースの所要時間は30~40分を予定する。

12. 装備

- (1) 各艇の責任において帆走重量を140kg以上にしなければならない。帆走重量とは艇体・センターボード・ラダー・ティラー・マスト・ブーム・ガフ・セールおよびそれらを固定する為のリギン、シート類を言う。(オール、パドルおよびアンカーは含まない)
- (2) セールにはリコール番号をセール両面に貼付しなければならない。リコール番号は赤色とし、サイズは一文字につき「縦20cm×横15cm」とする。
- (3) FRP艇と木造艇を識別するため、FRP艇はセールのスターボードサイド上部に赤色の四角形のシールを45度回転させ貼付する。
- (4) レース中、直径6mm以上、長さ10m以上の曳航用のロープを搭載しなければならない。
- (5) 艇はバウとスターンの両サイドに4本の浮力体(アップバック)を装着しなければならない。
- (6) 艇は沈をしたときの完沈を防ぐためヤードトップに黒球を取り付けなければならない(日本A級ディングー協会が支給する)

13. 計測

- (1) 新造艇、新規登録艇及び日本A級ディングー協会が指定する艇について計測を実施する。
- (2) レース委員会はレース後に任意に計測を行うことがある。

14. 安全規則

競技者は海上にいる間はライフジャケット(個人用浮揚用具)を着用しなければならない。ウェットスーツやドライスーツはライフジャケットとは認められない。また、膨張式のもの使用不可とする。

15. レース海面

葛西沖ヨット訓練水域に設置する。(添付図—1)。

16. コース

帆走するコースは、トライアングル+風上—風下コースとする。(添付図—2)

17. 得点

- (1) 本大会は各クラス共 1 レースを完了することにより成立する。
- (2) 艇の得点は、各クラス共全てのレース得点の合計とする。

18. 支援者艇

- (1) 支援者艇を認める。チーム名のわかる表記(旗等)をすること。
- (2) 支援者艇はレースごとの予告信号からレース終了までの間レース艇を妨害してはならない。
- (3) 支援者艇は自らの責任において出艇し、主催団体は大会前後、期間中に生じた物理的損害又は身体傷害若しくは死亡によるいかなる責任も負担しない。
- (4) 支援者艇はレース委員会の要請により自チーム以外の救助業務や交代要員の運搬を行うものとする。

19. 賞

- (1) 優勝チーム(各クラス共)には、優勝杯及び日本A級ディンギー協会会長賞状が贈られる
※(優勝杯は持ち回りとし、翌年変換時にレプリカが授与される)
2~6位には協会会長賞状が贈られる。
- (2) 混合レース
シングルハンド種目、レディース種目、スーパーシニア種目の上位入賞艇には、実行委員会より賞品が贈られる。

20. リスク・ステートメント

RRS3には「レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。」とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングに内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。

21. 肖像権

競技者は、本大会に参加することにより、大会期間中の競技者または競技者の装備に関する写真等の映像について、その競技者に予告なく主催団体の判断で使用する権利はすべて日本A級ディンギー協会に帰属する。

22. 新型コロナウイルス対策

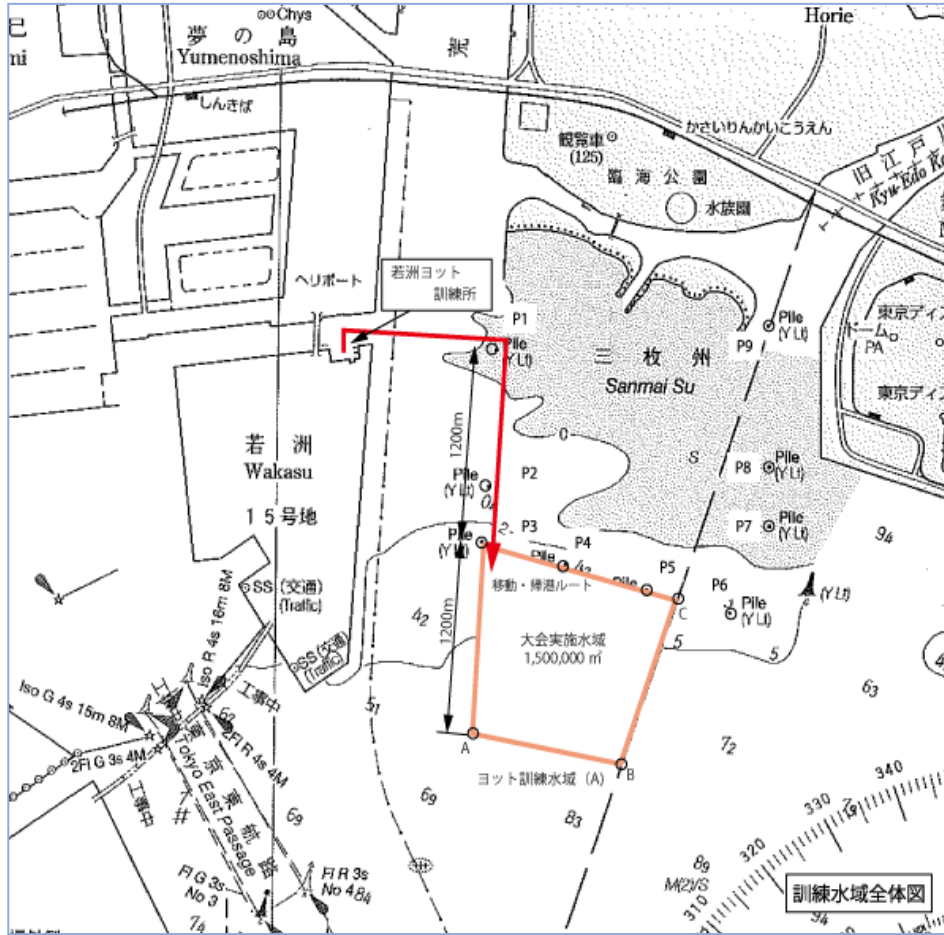
- (1) 陸上にいる間は常にマスクを着用する。
- (2) 陸上、海上において大声を発しない。

23. 連絡先

第31回全日本A級ディンギー選手権西宮大会実行委員会
委員長 筒井 洋二

携帯電話 090-7901-0306 e-mail: ytsutsui-sail@outlook.com

添付図—1



添付図—2

Start⇒1⇒2⇒3⇒1⇒3⇒Finish

